2026年3月期
第1四半期決算説明会資料

2025.8.7

株式会社リログループ（証券コード：8876）

連結業績概要

（百万円）

	24/6期 実績	25/6期 実績	前年同期比
売上収益	34,626	**35,745**	+3.2%
営業利益	7,046	**6,415**	▲9.0%
税引前利益	26,205	**6,420**	▲75.5%
当期利益	24,043	**4,414**	▲81.6%

- 売上収益は、主力であるストックビジネスの堅調な成長により前年同期比+3.2%の増収
- 営業利益は、アセット計上時期のズレ等により前年同期比▲9.0%の減益
- 前期第1四半期の税引前利益、当期利益には、日本ハウズイング株式会社の株式売却益等を191.6億円計上

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

連結業績概要（日本ハウジング株式会社の株式売却益等を除外）

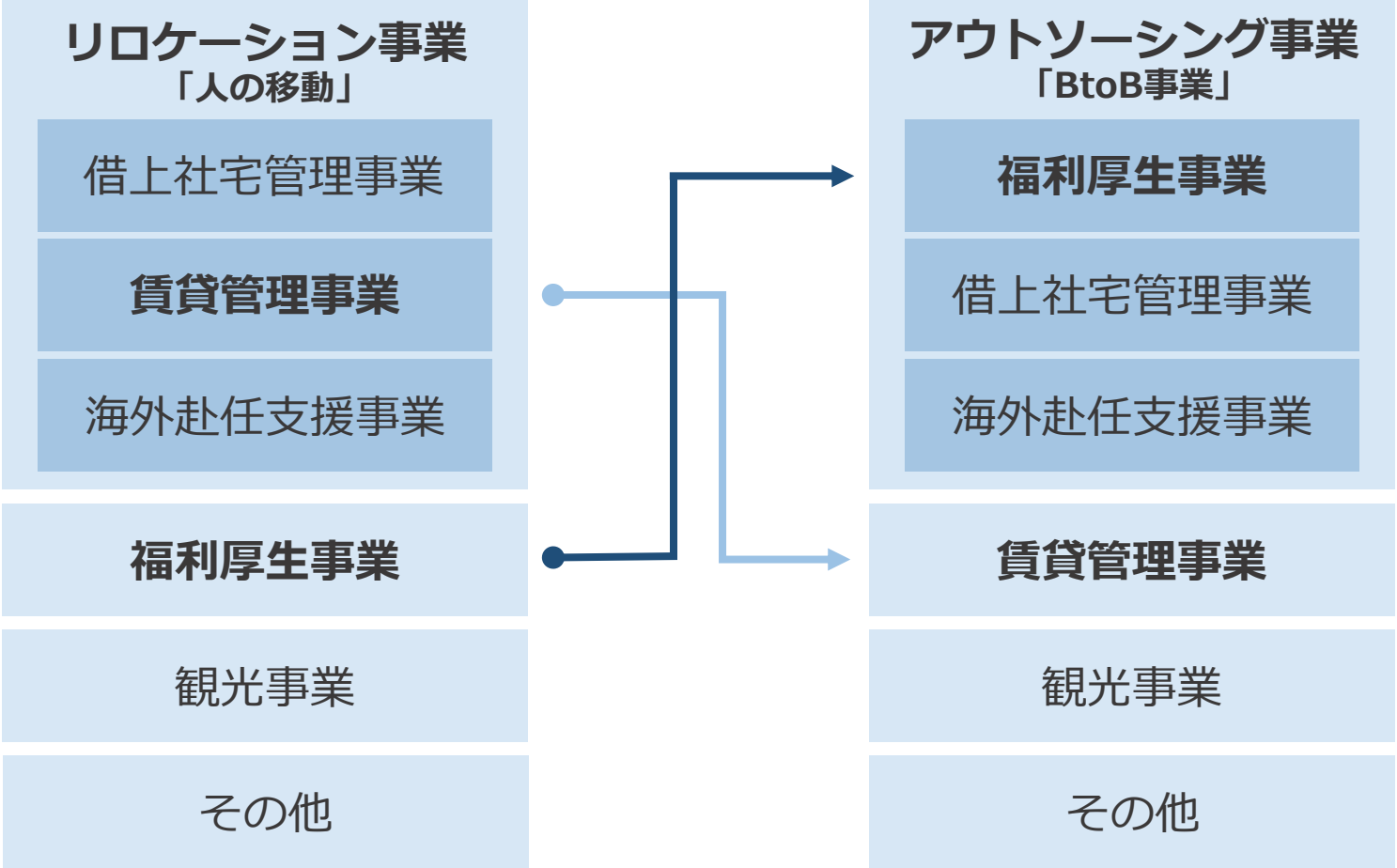
（百万円）

	24/6期 実績	25/6期 実績	前年同期比
売上収益	34,626	**35,745**	+3.2%
営業利益	7,046	**6,415**	▲9.0%
税引前利益	7,044	**6,420**	▲8.9%
当期利益	4,882	**4,414**	▲9.6%

- 日本ハウズイング株式会社の株式売却益等を除くと、税引前利益は前年同期比▲6.2億円、▲8.9%の減益

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

開示セグメントの変更

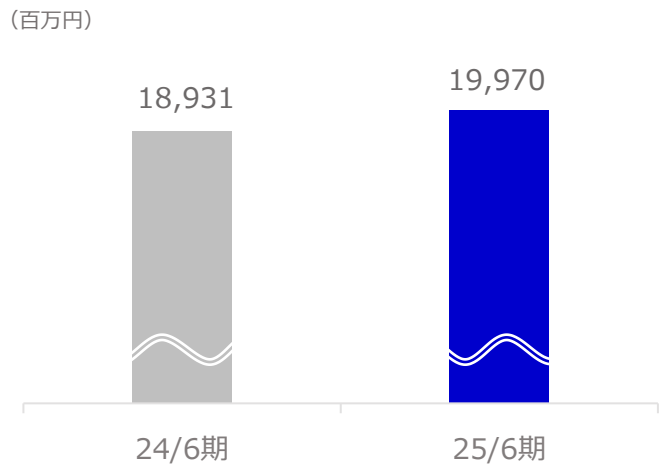


- 「人の移動」を軸に展開していた「リロケーション事業」を「BtoB事業」という観点でまとめた「アウトソーシング事業」に変更

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

アウトソーシング事業（業績）

売上収益

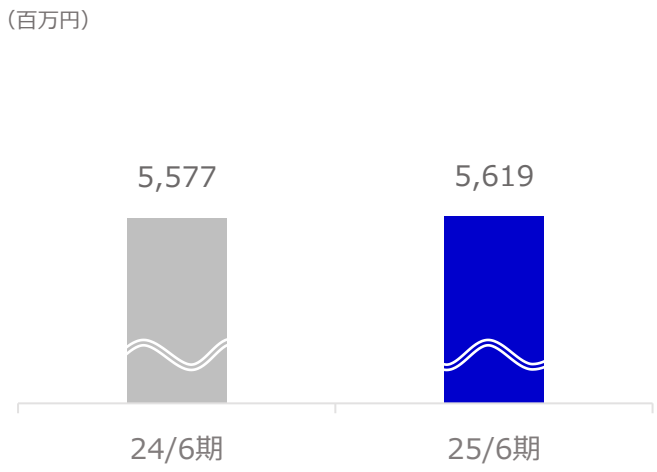


前年同期比

+5.5%

+1,039

営業利益



前年同期比

+0.8%

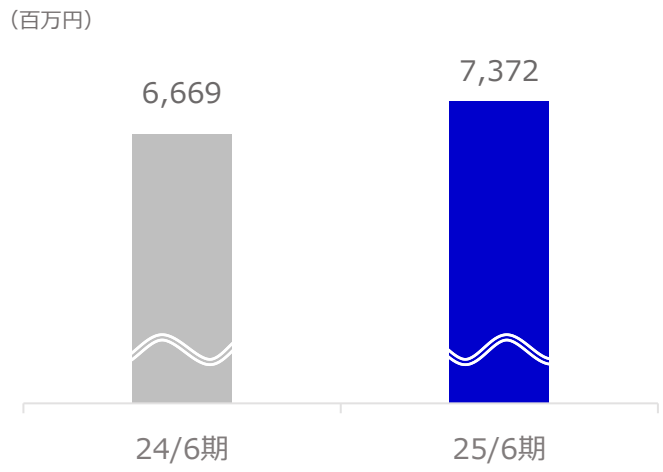
+42

- アウトソーシング事業は以下のサブセグメントで構成
  ①福利厚生事業、②借上社宅管理事業、③海外赴任支援事業
- サブセグメントの業績は次ページ以降にて説明

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

福利厚生事業（業績）

売上収益

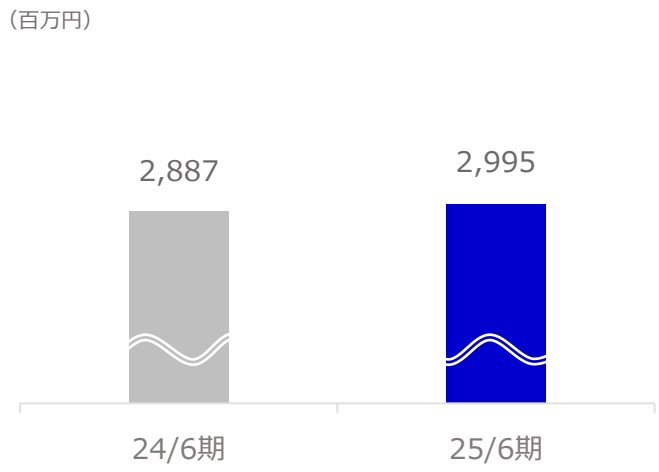


前年同期比

+10.5%

+702

営業利益



前年同期比

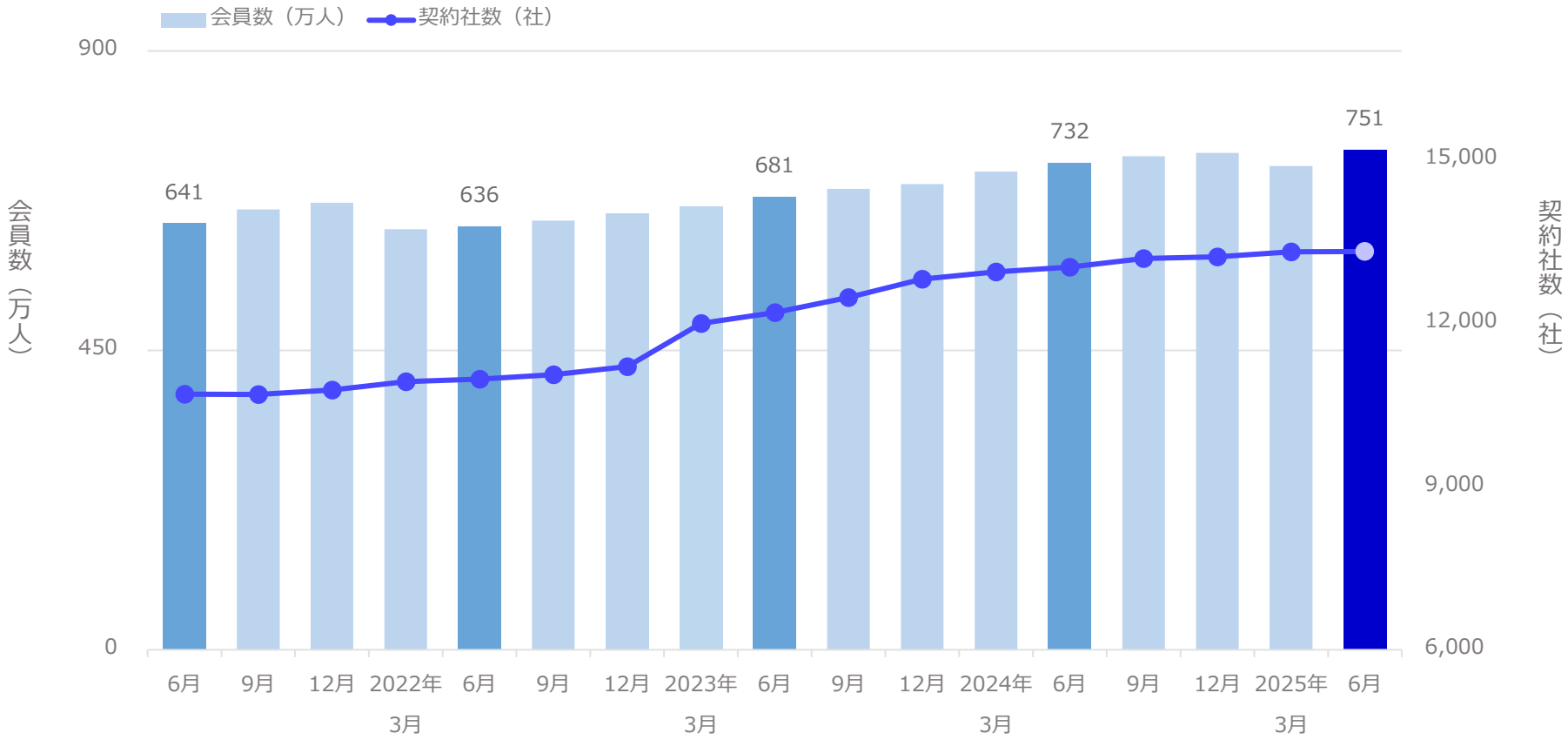
+3.7%

+107

- ストックとなる会費収入は、前年同期比+9.1%と増収
- 営業利益は、中期経営計画「第四次オリンピック作戦」成功に向け、商品開発や販売力強化のための先行投資を実施したことにより前年同期比+3.7%の増益を確保

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

福利厚生事業（KPI）



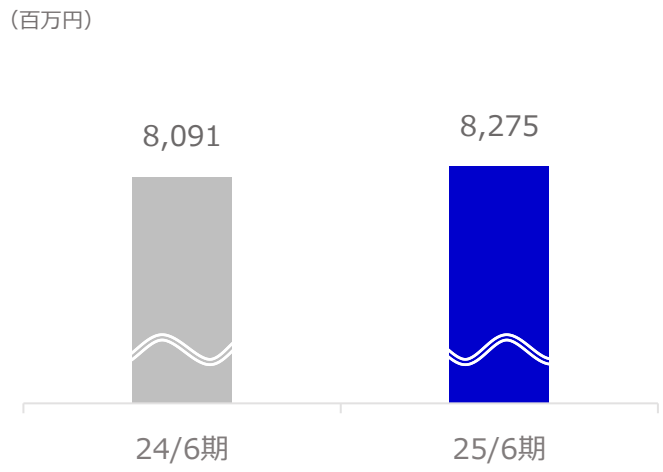
- 福利厚生アウトソーシングサービスの需要は拡大傾向
- 会員数は751万人。特殊要因除く前年同期比は+54万人、+7.3%の増加

【特殊要因】
前期第4四半期に会員数35万人の解約が発生。低単価のライトプランであるため、売上・利益への影響はほぼ無し

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

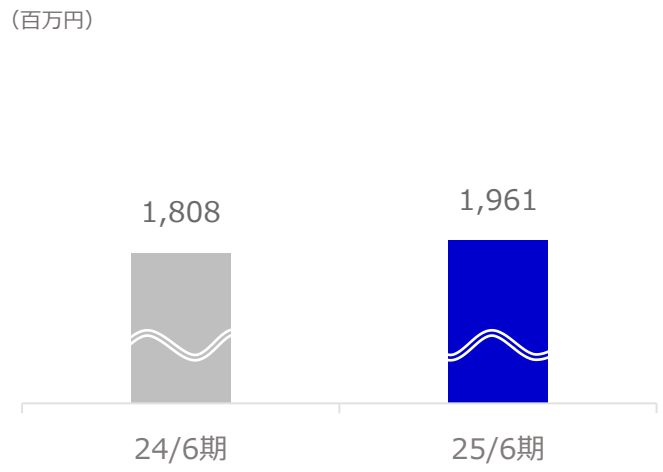
借上社宅管理事業（業績）

売上収益



前年同期比
+2.3%
+183

営業利益



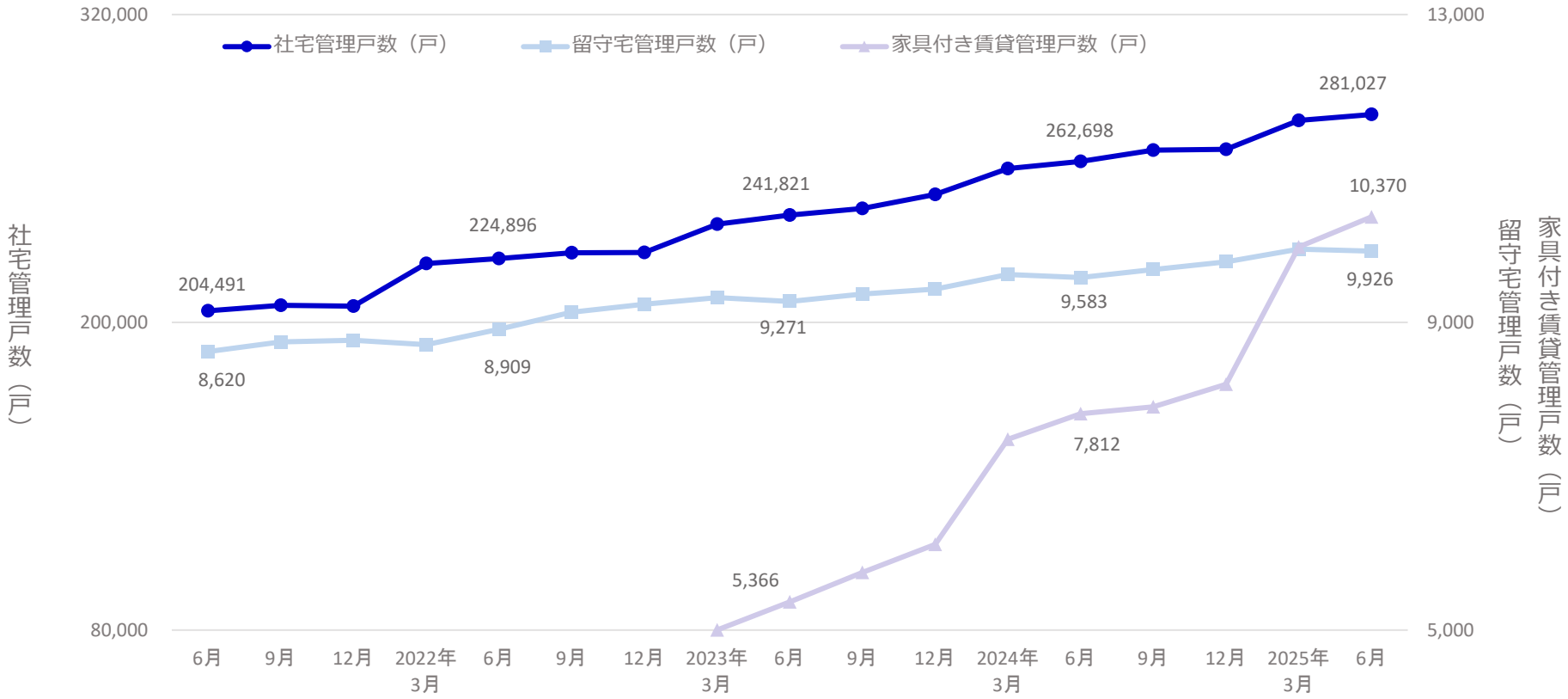
前年同期比
+8.4%
+152

- 社宅管理戸数の増加によりストック基盤は拡大
- 転勤に伴う引越・賃貸仲介など管理戸数に連動した収益も増加し、増益に寄与

【特殊要因】
前期第4四半期より、一部サービスについてリース会計を適用
前期第1四半期も同様の処理をした場合、売上収益は前年同期比＋6.5億円、+8.5%の増収

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

借上社宅管理事業（KPI）



■ 社宅管理戸数
・前年同期比+18,329戸（+7.0%）の281,027戸

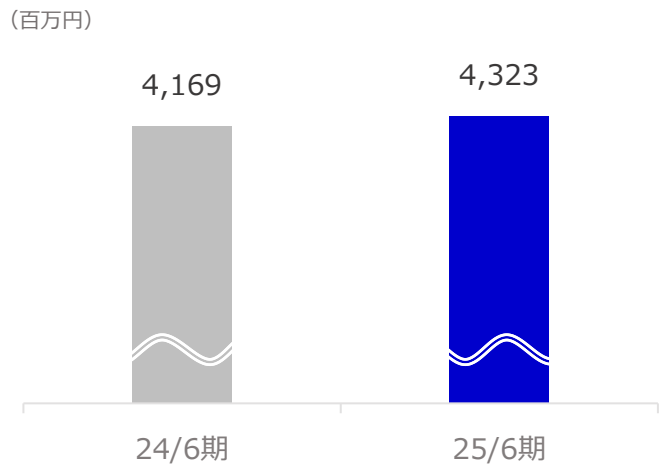
■ 留守宅管理戸数
・前年同期比+343戸（+3.6%）の9,926戸

■ 家具付き賃貸管理戸数
・前年同期比+2,558戸（+32.7%）の10,370戸

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

海外赴任支援事業（業績）

売上収益

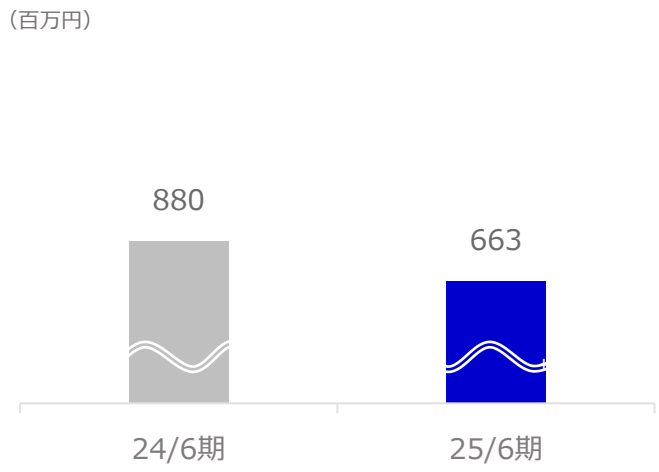


前年同期比

+3.7%

+153

営業利益



前年同期比

▲24.7%

▲217

- 売上収益は、国内事業が好調に推移したことにより前年同期比+3.7%の増収
- 営業利益は、下記要因により前年同期比▲24.7%の減益

【要因】

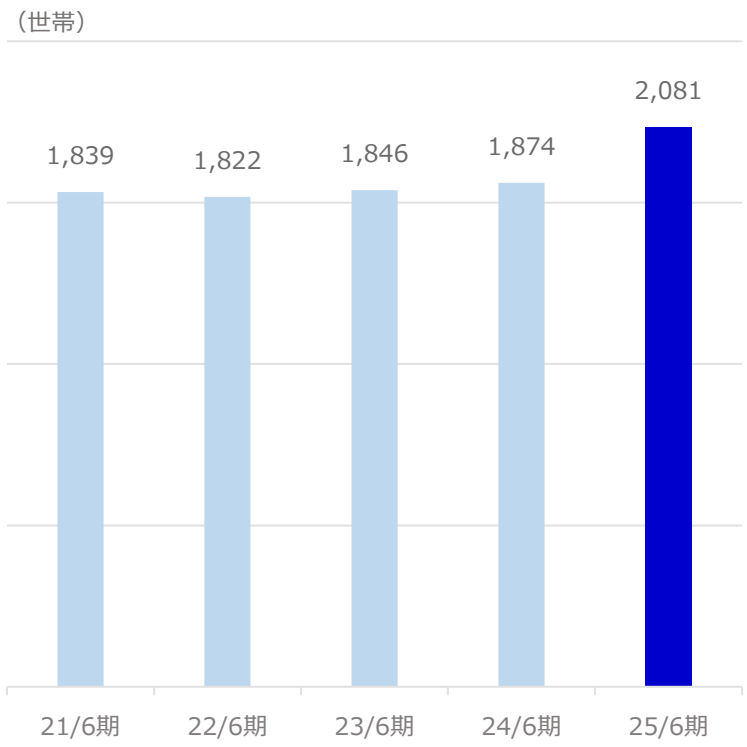
・前期第1四半期に海外現地にて大型アセット売却益を計上

・米国ビザ発給の遅延や為替変動の影響

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

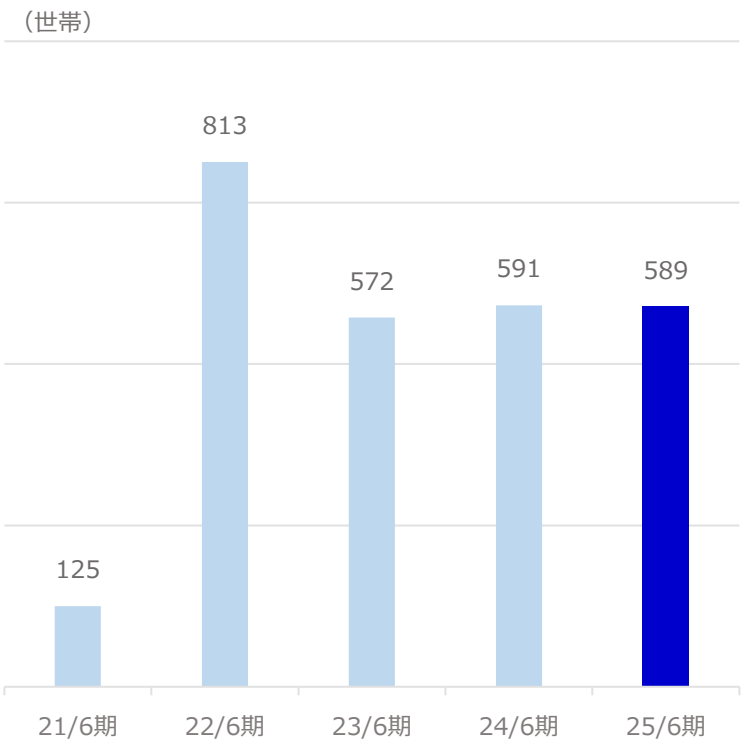
海外赴任支援事業（KPI）

海外赴任支援世帯数



- 海外赴任支援世帯数は、中国への赴任低迷が続くものの前年同期比+11.0%増加と順調に伸長
- 新規登録世帯数は前年実績を上回る水準

インバウンド支援世帯数

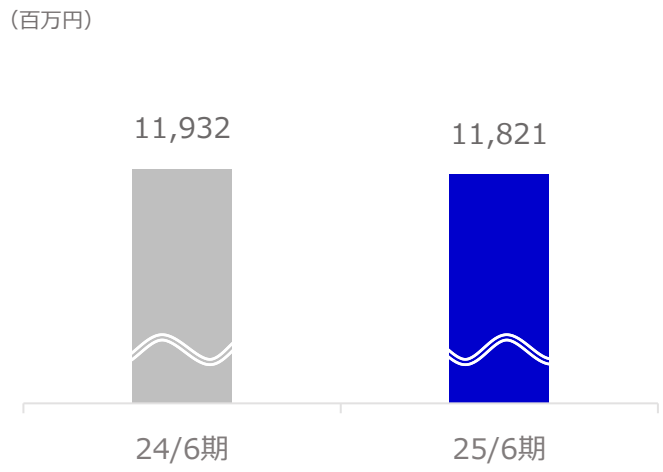


- インバウンド支援世帯数は、引き続き安定した水準をキープ

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

賃貸管理事業（業績）

売上収益

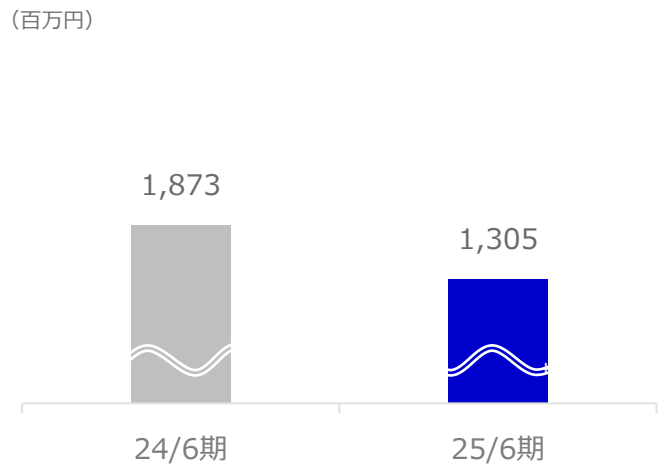


前年同期比

▲0.9%

▲111

営業利益



前年同期比

▲30.3%

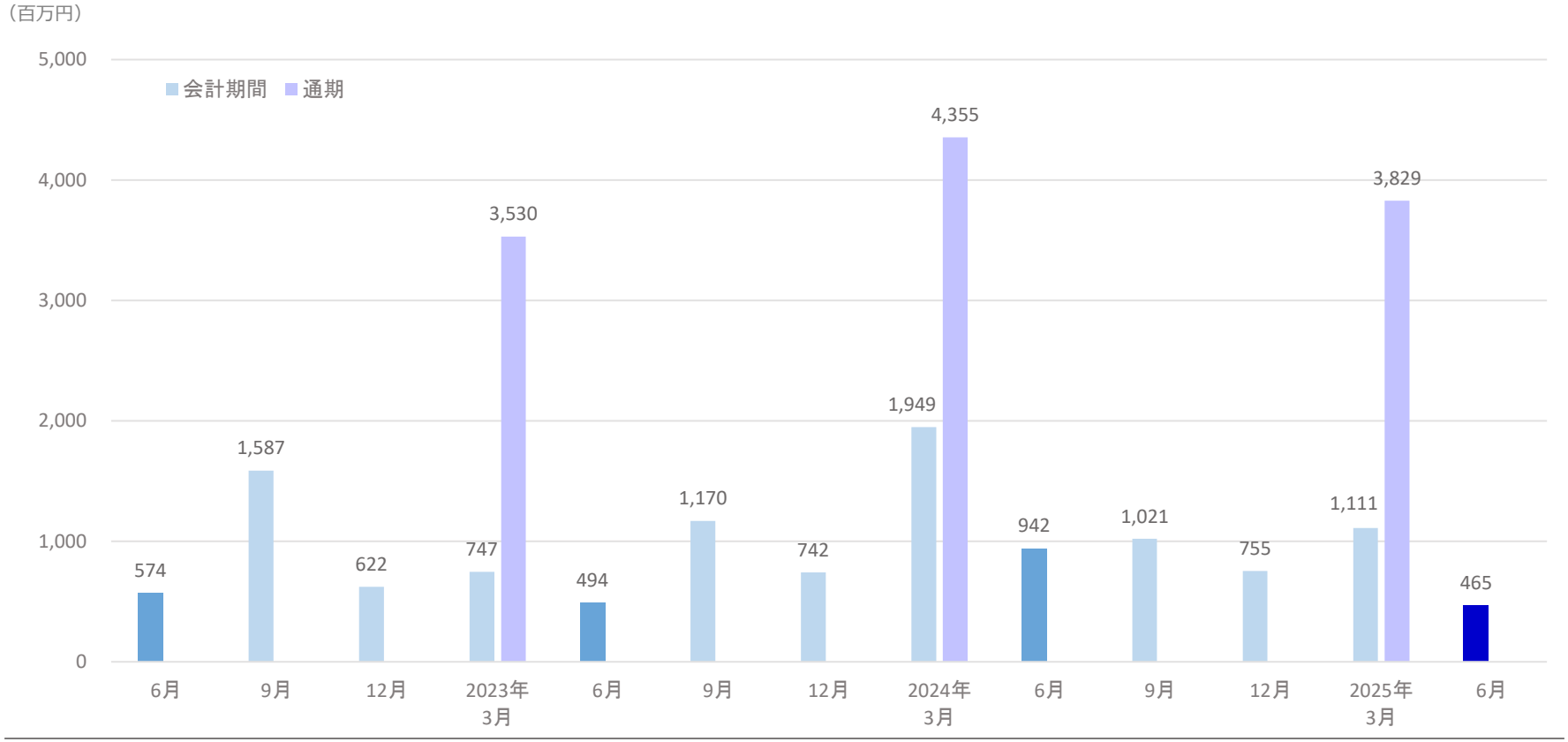
▲567

- 管理や工事、仲介などは順調に推移したものの、アセット売却時期のズレ等により減収減益
（アセット売却粗利益は次ページに記載）

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

賃貸管理事業（アセット売却粗利益の推移）

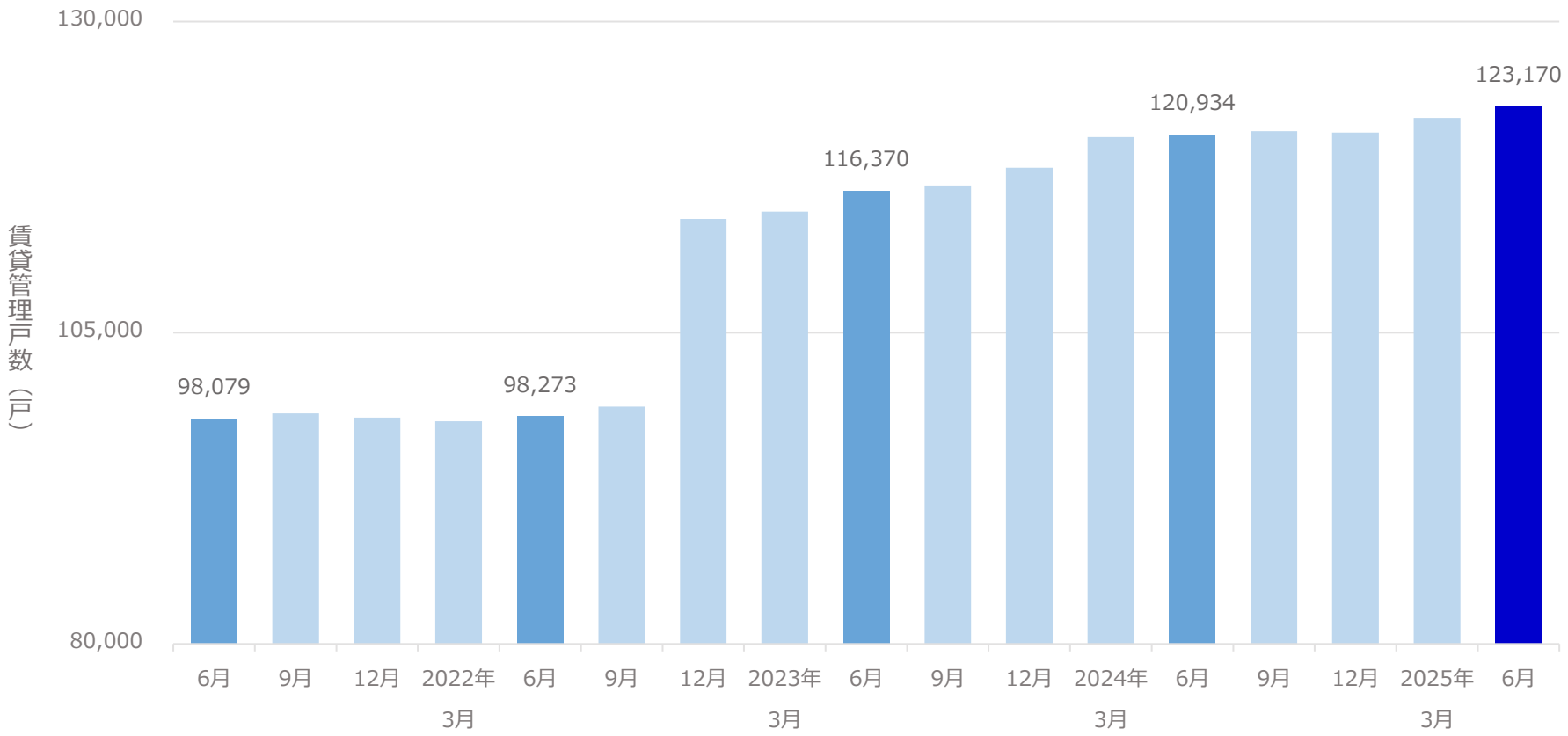
※ご参考（社内管理数値）



- 第1四半期のアセット売却粗利益は前年同期を下回るが、仕入れは順調に進んでおり順次売却予定

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

賃貸管理事業（KPI）

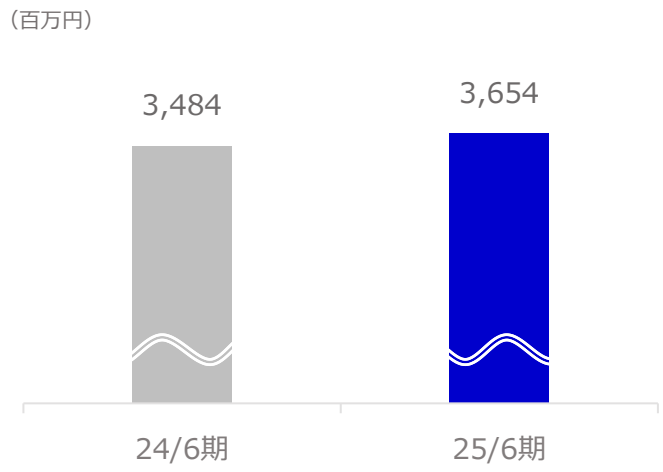


- 賃貸管理戸数は前年同期比+2,236戸（+1.8%）の<u>123,170戸</u>
- 4月および7月に賃貸管理会社をM&A
- 既存グループ各社の成長に加え、M&Aを推進しストック基盤を拡大

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

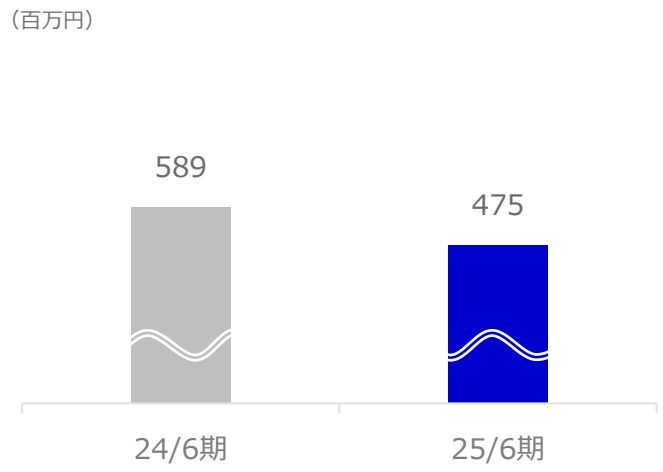
観光事業（業績）

売上収益



前年同期比
+4.9%
+169

営業利益



前年同期比
▲19.3%
▲114

- 過去最高の集客数と稼働率で推移したものの、新規施設の開業関連費用や原材料を中心にコストが上昇し増収減益
- ホテルと旅館業界に特化した人材紹介会社をM&Aし、人材紹介業および労働者派遣業を開始

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

賃貸管理事業（第二の創業開始からのM&A）

M&A投資額

311億円

営業利益（25/3期）

81億円

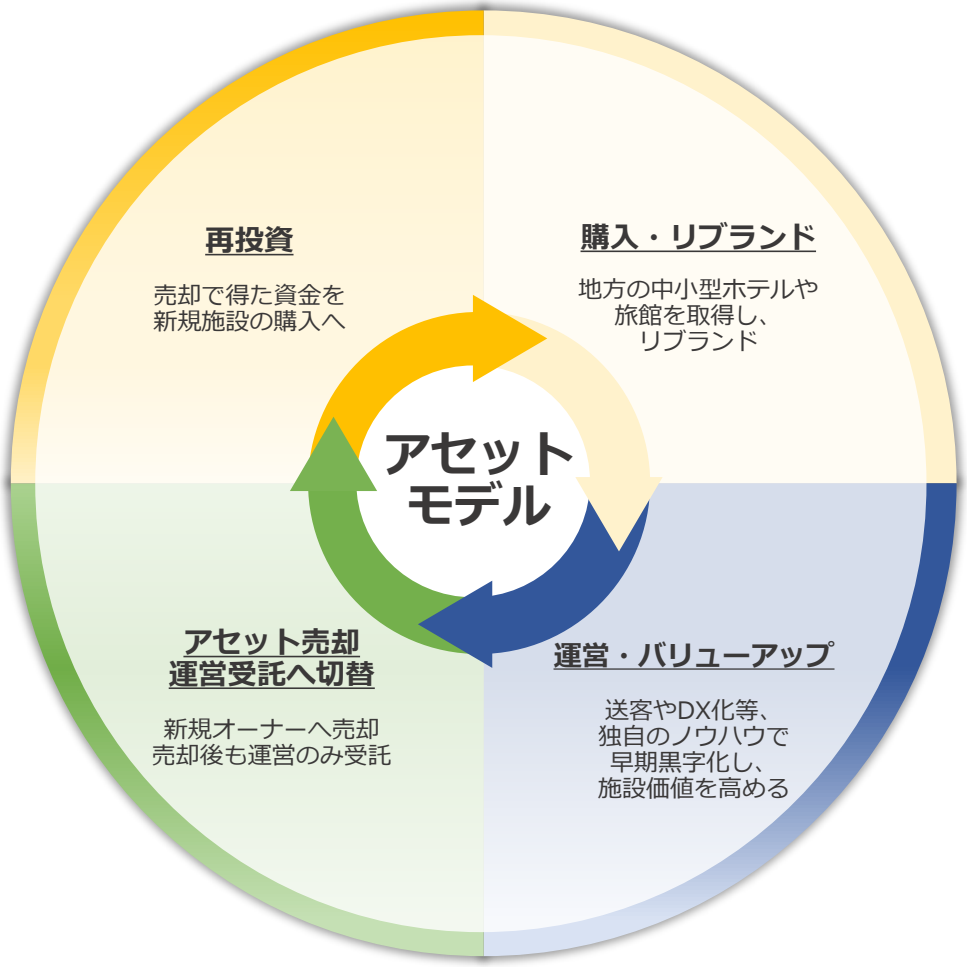
投資利益率

約26%

- 累計311億円のM&A投資に対し、投資利益率は約26%
- 第二の創業開始からの14年間に多くのM&Aを実施し、安定的な収益基盤の構築に寄与

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

観光事業（第三次オリンピック作戦の投資実績）



施設投資額
34億円

税引後利益
25億円

投資利益率
約74%

- 総額34億円の施設投資に対し、投資利益率は約74%
- 投資効率は高い水準で推移しており、一連のサイクルで成長するアセットモデルを確立

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

アウトソーシング事業（M&Aターゲット）

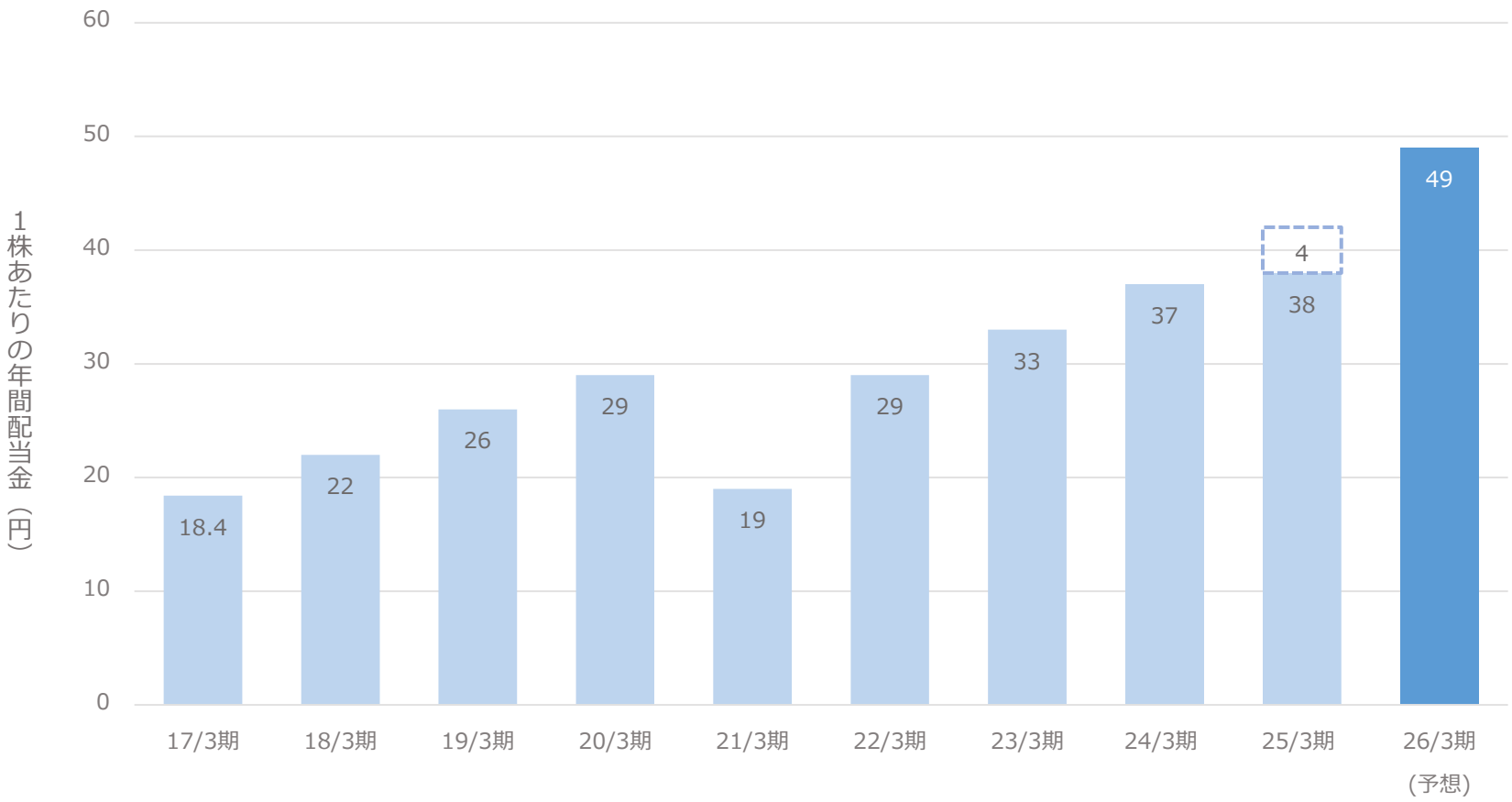
BtoB領域

アップセル	既存の顧客基盤にアップセルできる外部機能の取り込み
BPO	サプライヤー基盤に提供できるBPO機能の取り込み
内製化	既存事業の川上・川下にあたる事業の内製化

- 「第四次オリンピック作戦」では、「BtoC」の賃貸管理事業や観光事業に加えて「BtoB」領域での投資を進める

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

株主還元



- 適切な自己資本比率を確保しつつ、高いROEの維持と成長投資に必要な資金を確保すること等を勘案し、今期より配当性向を**35%**に引き上げ
- 2026年3月期の年間配当予想は**49円**

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

appendix

2026年3月期　連結業績計画

（百万円）

	25/3期 実績	26/3期 計画	前期比
売上収益	142,908	**150,000**	+5.0%
営業利益	30,437	**31,400**	+3.2%
税引前利益	52,863	**31,200**	▲41.0%
当期利益	43,317	**21,000**	▲51.5%

- 2026年3月期営業利益計画の成長率は3.2%

【要因】

①通常の昇給に加え、人材投資を予定。固定費の水準は一時的に上がるが、ストック売上を二桁成長させ、第四次オリンピック作戦期間中にコスト増加を吸収

②第四次オリンピック作戦成功に向け、商品開発や販売力強化にかかるコストを織り込む

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

2026年3月期　新セグメント別事業計画

（百万円）

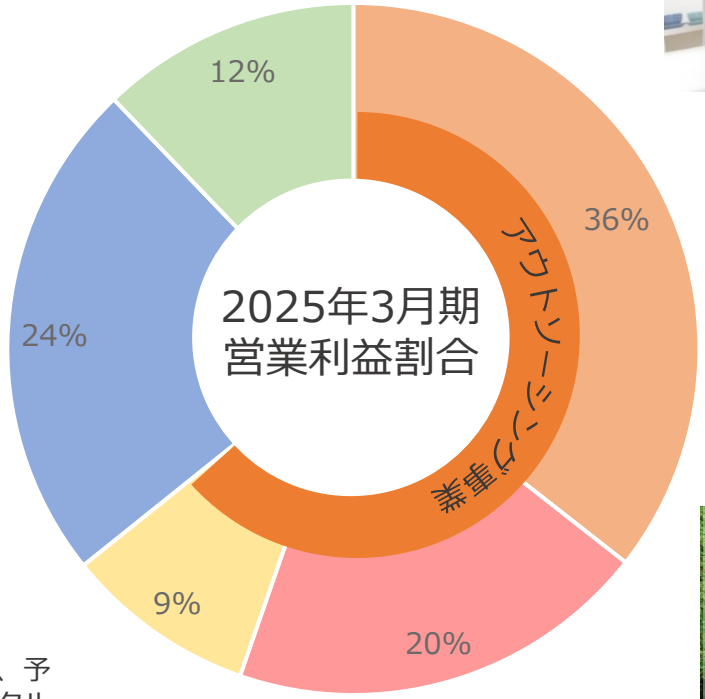
	25/3期 実績	26/3期 計画	前期比	
売上収益	142,908	**150,000**	+7,092	+5.0%
アウトソーシング事業	74,222	**79,000**	+4,778	+6.4%
福利厚生事業	27,378	**29,500**	+2,122	+7.8%
借上社宅管理事業	30,017	**32,000**	+1,983	+6.6%
海外赴任支援事業	16,826	**17,500**	+674	+4.0%
賃貸管理事業	51,759	**53,000**	+1,241	+2.4%
観光事業	15,771	**17,000**	+1,229	+7.8%
営業利益	30,437	**31,400**	+963	+3.2%
アウトソーシング事業	22,154	**23,300**	+1,146	+5.2%
福利厚生事業	12,269	**12,900**	+631	+5.1%
借上社宅管理事業	6,803	**7,200**	+397	+5.8%
海外赴任支援事業	3,080	**3,200**	+120	+3.9%
賃貸管理事業	8,166	**8,300**	+134	+1.6%
観光事業	4,197	**4,200**	+3	+0.1%

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

リログループの多角的なポートフォリオ

■観光事業
地方の中小型ホテル・旅館の運営で培ったノウハウを活用して、ホテル・旅館の運営事業を展開しているほか、後継者問題を抱えるホテル・旅館の再生にも取り組んでいます。 また、コンドミニアムタイプのポイント制タイムシェアリゾート事業も手掛けています

■賃貸管理事業
国内主要都市を中心に事業展開し、各地域において賃貸物件オーナー向けに管理業務のアウトソーシングサービスを提供。また、継続的に全国各地の賃貸管理会社をM&Aすることで事業拡大を図り、ノウハウを横展開することで持続的成長を実現しています



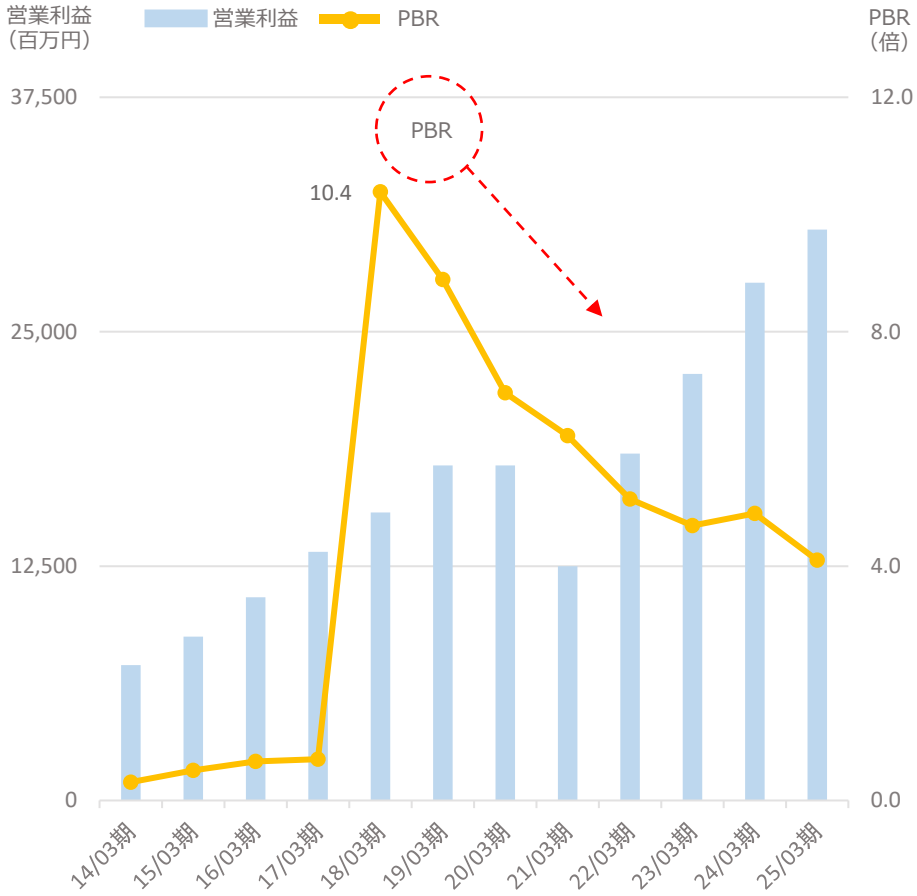
■福利厚生事業
企業に勤める従業員を対象とした企業福利厚生のアウトソーシングサービスを提供。福利厚生分野のパイオニアとして、全国の事業拠点で各地域に密着し、余暇を充実させるレジャー・宿泊メニューのほか、スキルアップ、健康診断、育児・介護メニューなど、従業員の皆さまの生活や働き方を支援するライフサポートメニューを多数取り揃え、従業員の皆さまの生活の充実と企業の活力向上をサポートしています

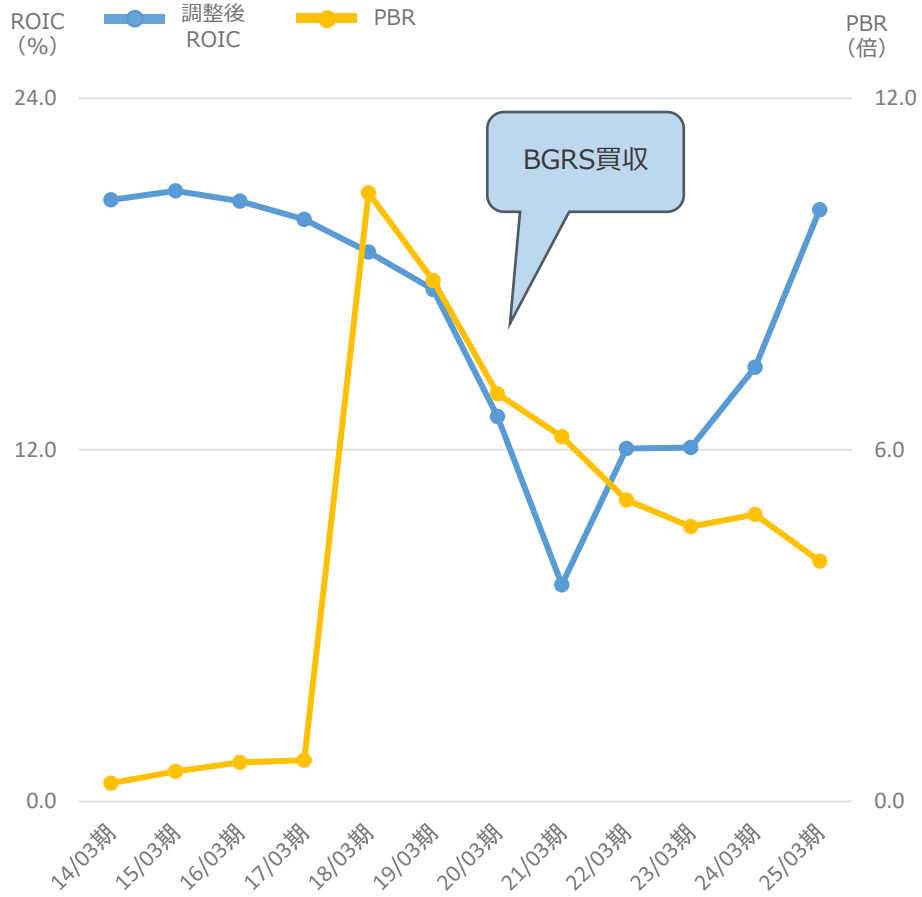
■海外赴任支援事業
赴任前から帰任に至るまで、就労ビザの申請、予防接種、海外引越などの煩雑な手続きをトータルサポート。海外赴任に関連する各種データ等の提供や海外赴任規定の作成など、関連する様々なサービスも提供しています。さらに、日本企業が進出する国・地域ではサービスアパートメントの運営や現地における住宅斡旋などの海外駐在員向けトータルサービスも手掛けています

■借上社宅管理事業
業界初の転貸方式により、社宅管理のフルアウトソーシングサービスを提供。物件契約、家賃送金業務、退去時交渉等、社宅に関する煩雑な業務を請け負う他、転勤時の持ち家管理、社宅規程のコンサルティング等、社宅に関連する幅広いサービスを展開しています

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

PBR推移と現状評価



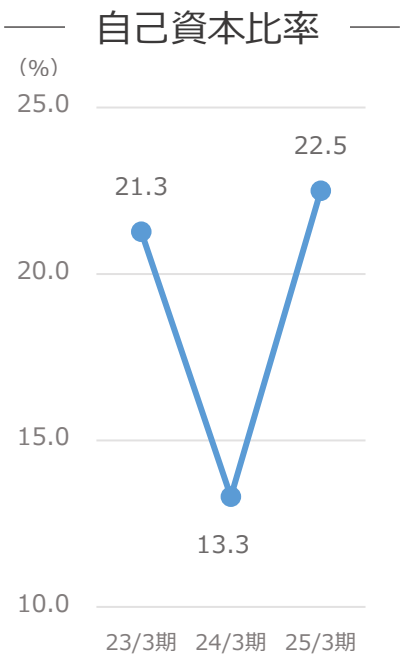


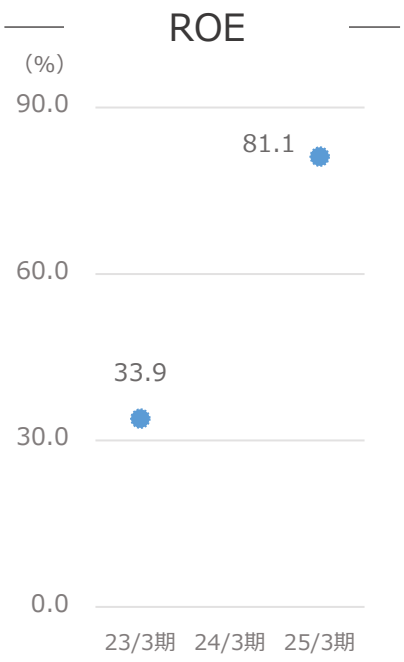
- 2012年3月期以降、業績成長に連動してPBRが上昇するも、2018年3月期をピークにPBRは下落。業績は回復し2023年3月期に過去最高益を更新するが、PBRの下降は継続

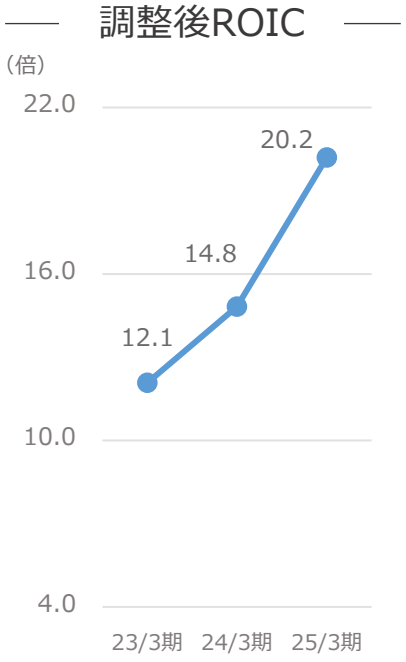
- 2020年3月期BGRS買収以降、調整後ROICの低下が、PBR下落の時期とほぼ一致
- 調整後ROICはSIRVA-BGRS買収前を上回る水準

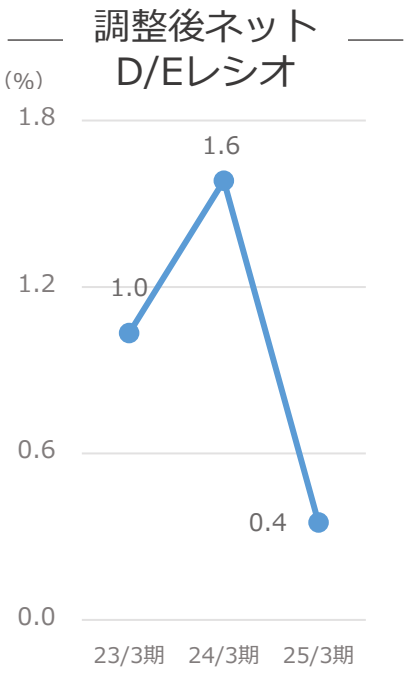
Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

指標（2025年/3月期末）









※調整後ネットD/Eレシオおよび、調整後ROICの算出は、現金および現金同等物を調整した調整後ネット有利子負債を使用おります

※2024年3月期末のROEは損失を計上したため空白表記としております

- 2024年3月期のSIRVA-BGRS減損により、各指標が一時的に悪化したものの、現在は回復
- 2025年3月期の日本ハウズイング株式会社の株式売却により、ROEは大幅に上昇

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

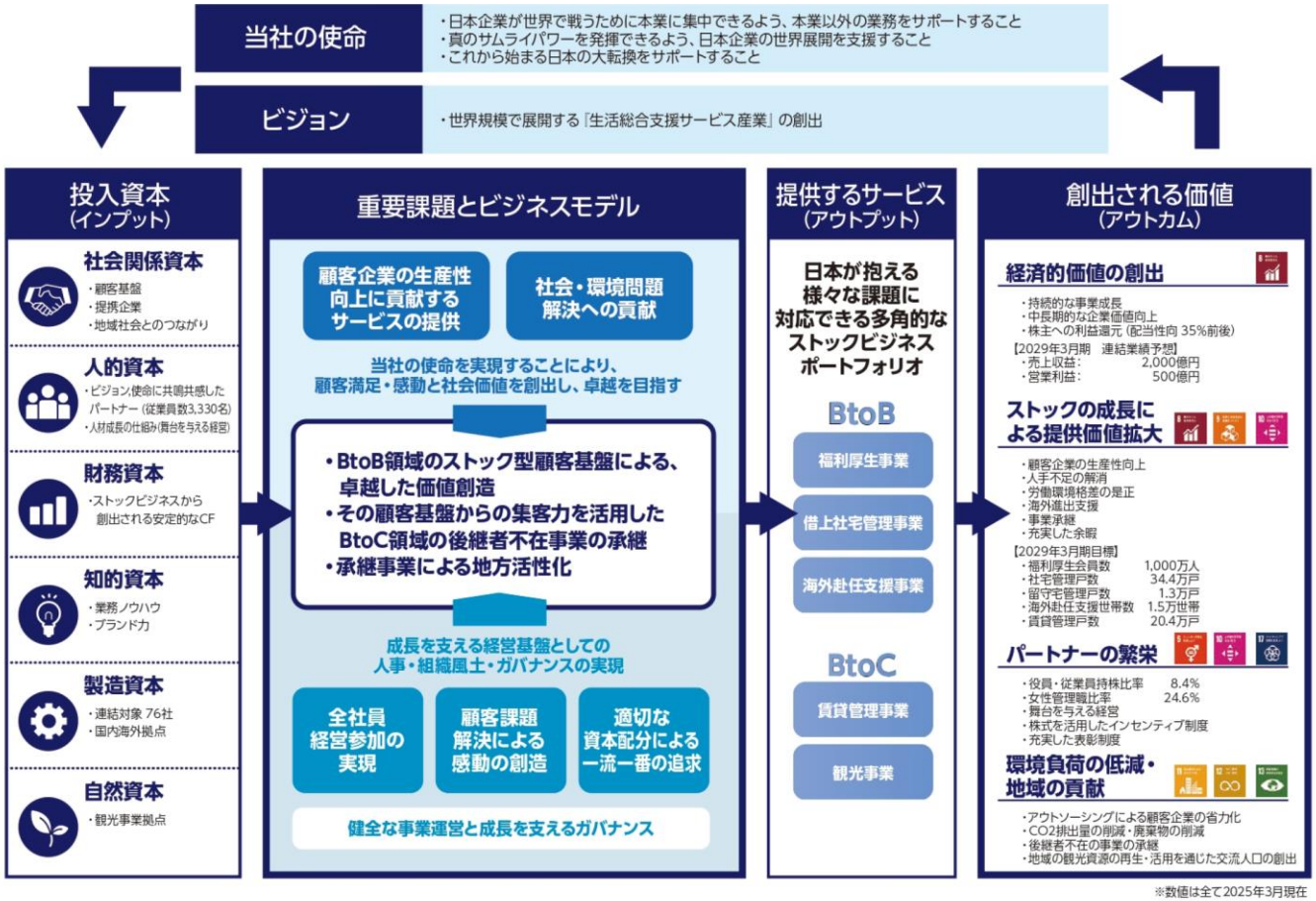
株主・投資家との対話実施状況

IR実績		
主な対応者	CEO、CFO、経営企画室（IR）室長、IR担当者	
株主・投資家	セルサイドアナリスト・バイサイドアナリスト・ファンドマネージャー（国内・海外）	
主なテーマ	・中期経営計画の進捗状況 ・事業ポートフォリオマネジメント ・資本効率、株価について ・IR開示内容 ・コーポレートガバナンス ・環境問題への対応	
IR面談・イベント実績	**24/3期**	**25/3期**
IR面談回数	249件	214件
機関投資家向け決算説明会	4回	4回
機関投資家向け会社説明会	2回	2回

- 当社は株主・国内外の機関投資家に対して、公平かつタイムリーで積極的な情報開示に努めています
  主なIR活動として、決算説明会などの定期イベントのほか、IR面談を年200件以上実施しています。
  併せて、IRサイトを拡充するなど、積極的な情報開示に今後とも努めてまいります。

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

価値創造プロセス



- 当社HPに、サステナビリティ方針をはじめとした各方針、およびESGデータを掲載しております。（詳細はこちら）

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved

問い合わせ先

ご連絡先

株式会社リログループ　企画IRグループ

TEL：03－5312-8704
E-Mail：ir@relo.jp
URL：https://www.relo.jp/

本資料は、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
また、本資料は2025年6月現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

Copyright © 2025 Relo Group Inc. All rights reserved